

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	独立行政法人地域医療機能推進機構 湯河原病院	階数	地上3F
建設地	足柄下郡湯河原町中央2丁目21	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、第22条区域	平均居住人員	360人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年4月 予定	評価の実施日	2020年2月26日
敷地面積	18,190 m ²	作成者	株式会社久米設計
建築面積	4,049 m ²	確認日	2020年2月26日
延床面積	10,069 m ²	確認者	株式会社久米設計



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み

③上記②以外のオンサイト手法 ④上記② オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
湯河原町に建設される病院であり、1Fに外来、2・3Fを病棟とした施設である。外構は緑あふれる空間とし、室内はリサイクル材や節水器具を積極的に採用し、環境負荷の低減に配慮している。		
Q1 室内環境 ・ハイサイドライト、トップライトを設置し、昼光利用を積極的にしている。 ・全館禁煙とし、室内の空気質環境を良好に保つための運用管理を行っている。	Q2 サービス性能 ・病室の広さ・天井高を確保し、使いやすさ・快適性に配慮している。 ・災害時に重要系統へ電源供給を行う等、災害時の各設備の機能維持について配慮をしている。	Q3 室外環境 (敷地内) ・敷地内の既存樹を活かしながら全体の植栽計画を行い、生物資源の保存・創出に配慮している。
LR1 エネルギー ・高効率な設備機器を導入している。	LR2 資源・マテリアル ・節水器具を使用し、水資源保護に配慮している。 ・リサイクル材等を使用することにより、非再生性資源の使用量削減に配慮している。	LR3 敷地外環境 ・十分なスペースの駐車・駐輪場を確保し、渋滞緩和に配慮した交通計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される